平成２８年度　第1回　北海道紋別養護学校　学校評議員会の概要

６月２８日（火）に今年度の第1回学校評議員会を紋別養護学校で開催しました。その概要についてお知らせします。

１　授業参観

紋別養護学校の小学部、中学部の授業について卒業後の社会生活を見据えた教育活動の在り方の視点から参観していただきました。
（高等部については、６月２７日から実施している現場実習の概要を説明しました。）
【小学部】「生活単元学習～ＡＬＴ交流」　【中学部】「作業学習～縫工作業・生活作業～」

２　学校経営方針の説明

【重点指導目標】
（１）卒業後の社会生活を見据えた小学部・中学部・高等部のつながりのある教育活動の充実
（２）「わかりやすさ」を重視し、児童生徒の自発行動を引き出すことのできる授業の工夫
（３）児童生徒一人一人の生活に結び付く学力の向上

３　平成２８年度の卒業後の社会生活に向けた教育活動について

○　紋別養護学校の教育
・地域と連携した進路学習・社会体験の充実
（地域の環境整備、福祉会館清掃（中学部））
・卒業後の社会生活につながる現場実習の充実
（２週間の現場実習（高等部））
・卒業後の地域生活を見据えた進路指導
（生活の場、就労の場の課題・情報の共有）

○　紋別養護学校ひまわり学園分校の教育
・地域の学校との交流及び共同学習の充実
（安国小学校・安国中学校・遠軽高等学校）
・地域資源を活用した社会貢献活動の充実
（公園・駅の環境整備（高等部））
・自動車学校と連携した交通安全教室の実施などより実際的な活動の充実

４　評　　議

評議のテーマ「卒業後の社会生活を見据えた教育活動の在り方」

【主な内容】
・卒業後の進路を決定していくには「働く場」と「生活の場」の２つの場所での生活する力を充実させる必要がある。
・ひまわり学園分校では、道内の広い地域から児童生徒が集まっていることから学校周辺の地域で得た力を親元で生かしていくことが難しい場合もあり、親元の状況との違いを意識しながら教育活動を充実させる必要がある。
・働くことが続けられるためには、職場での成功体験や自己有用感が大切であるため、障がいのある児童生徒の地域への理解啓発は大切である。
・児童生徒が将来、働くことや生活する力を付けていくために各学部ごとにどのようなことを視点をもち教育活動を進めているか明確にすることが大切である。

第2回の学校評議員会は、紋別養護学校ひまわり学園分校で10月下旬（予定）に開催します。